



地域に感謝！ 充実の文化祭

ようやく秋らしい季節を迎えた10月26日（土）、文化祭を開催しました。

本校の文化祭は、多くのシナジー（相乗効果）があります。1つ目は、主体性のある文化祭実行委員会を立ち上げ、企画・進行、そして舞台裏でステージ発表の支援を献身的に行い、文化祭を盛り上げたことです。2つ目に、「ふれあい講座」です。地域の皆様に講師をお願いし、今年は17の講座を開設することができました。文化祭当日に向けて、4回の講座でご指導していただきました。中には夏休み中から練習を始めるなど、講師の先生方には、本当に熱心にご指導いただきました。おかげで、見応えあるステージ発表や個性豊かな作品を展示することができ、文化祭に華を添えることができました。3つ目は、PTA合唱です。コロナ禍には中止していましたが、昨年から復活しました。子どもたちが一所懸命に活動する姿を見て、保護者も教員も文化祭の充実に協力したいという思いから、仕事終わりや家事の合間に、学校の音楽室で練習をして当日を迎えました。



スローガン設置



スポット

ステージ照明

実行委員会の活動の様子

その他にも、「一人一役サポーターズ」の駐車場係の保護者の方には早朝から交通整理にご尽力いただきました。

本校生徒は、様々な温かいご支援を肌で感じながら、主体的に伸び伸びと各自の持ち味を表現することができ、充実感いっぱいの思いを胸に文化祭を終えることができました。

関係したすべての皆様に感謝申し上げます。



3年A組



3年B組



3年作品



ご来場の皆様



PTA合唱

小中合同あいさつ運動

10月16日(水)の朝、中学生が由宇小学校に出向き、合同であいさつ運動を行いました。

これは、「子どもの学びプロジェクト会議」で児童生徒が地域課題を考え、夏休み中に行った「由宇地域拡大熟議」で、地域の大人と話し合った意見の中の一つを形にしたものです。

今後、どのようにしたら、一層あいさつが飛び交う由宇地域になるか、児童生徒の試行錯誤が続きます。



中倉そば刈りボランティア

11月3日(祝)、「なかくら里山再生プロジェクト」リーダーの中部様のお誘いで、中学生ボランティアに募集した本校生徒4人がさわやかな汗を流しました。

30人ほどの参加者と一緒に、2時間ほどのそば刈りを行ったり、薪割りをしたり、貴重な体験活動をしました。

昼食には、十割そばや新米の塩むすび、本格窯焼きピザをいただき、里山の美食も堪能できました。

改めて由宇地域の良さを知ることができたボランティア活動となりました。



「由宇中農園」の芋掘り

10月末に芋掘りを行いました。今年の夏の猛暑で芋づるが枯れそうになるピンチもありましたが、何とか水やり等の世話を続け、収穫の時期を迎えました。

例年並みの収穫ができ、今年も校内「芋屋」を開店できそうです。

